

経済過熱の懸念を背景にトルコの通貨安値を記録

<https://www.voanews.com/a/turkish-currency-hits-record-lows-over-fears-overheating-economy/4340944.html>

Voice of America 2018年4月10日 3:45 PM

- ドリアンジョーンズ



イスタンブール -

トルコ経済が過熱しているという金融市場の懸念が高まるなか、トルコリラは、ドルに対し歴史的な安値を火曜日につけた。

近い将来の選挙のために、政府は経済成長を進めている。最新の数字は、成長率が7%を超

え、トルコを先進国で最も急速に成長している国の一つにしている。

しかし、国際的な投資家は、二桁のインフレと輸入の急増により、トルコの経常赤字（輸入と輸出の差）が拡大し、このような成長のコストにますます警戒を強めている。

「インフレや経常収支の赤字など、不均衡に対処するよりも、政府がより早く成長を進めているという事実には、投資家は失望している」野村銀行のエコノミスト イナン・デミール氏は語った。

トルコのエルドアン大統領は、金融危機への対応を目的とした演説会で、「人によってはこういう。「あまりに大きすぎる成長は、良いことではない。」なぜ？彼らは嫉妬しているのだ。ただそれだけだ。」といった。

エルドアンは、公然と批判する批評家に対応する別の動きとして、新たに 340 億ドルの景気刺激策を発表した。トルコの急速な成長の大部分は、政府が何十億ドルも経済に投入したことで、達成されている。

エルドアンはさらに、正統的な経済理論が下落する通貨を守るために求める金利を上げることへの強い反対を再び始めることで、国際市場をさらに刺激した。

「金利の上昇がなければ、リラは引き続き下落するだろう。多かれ少なかれ、リラはグローバルなセンチメントに左右され続けるであろう。下落の底の水準を引くことは非常に難しい。」とデミールは警告した。

リラは年初からドルに対して 7%以上下落している。



2015年12月23日、アンカラでトルコ副首相 Mehmet Simsek

Simsek に関する報道

先週、Mehmet Simsek 副首相が金利政策に関してエルドランと電話での激しい話し合いの後、辞任したという報道で、リラは大幅に下落した。

アナリストらは、以前は国際投資銀行の Goldman Sachs で働いていた、経済を担当している Simsek が、トルコの金融市場の信頼を維持する鍵を握っていると述べている。アンカラの報道によると、Simsek は、政府の激しい抵抗の後に辞任を取り下げた。

しかし、2019年の大統領選挙と総選挙ゆえに、隆盛な経済は、エルドアンと彼の与党 AKP 党の再選の可能性の鍵を握るように思われる。

新聞のコラムニストであり、大統領の消息筋である Abdulkadir Selvi は、「エルドアンは、その選挙を勝つための方法は、経済状況を改善することであることを知っている。」「それ故、

彼が、2018 年を業績、成長、雇用の年と宣言したのです。」と月曜日の Hurriyet（トルコの
日刊紙）に書いている。

グローバルソースパートナーズのアナリストである Atilla Yesilada は、「何が、AKP のビジ
ョンに残されているのか？10 年前、AKP は、包括的な党であった。AKP は、人権、現代民
主主義の進歩、人道的な社会について話していた。今は、残された巨大な建設プロジェクト
と経済成長のみである。だから、もし、経済を刺激することを止めれば、経済成長はすぐに
崖から滑り落ち、彼らが公正な選挙で勝つチャンスはない。」と述べた。

しかし、急落する通貨は、それ自体が経済的リスクをもたらす。専門家は、通貨の大幅な下
落は、消費者の信頼を損なうこととなり、消費の落ち込みにつながり、最終的には経済成長
に打撃を与えると警告しています。

トルコが直面するより差し迫った脅威は債務である。トルコ企業の短期外国為替債務は 220
億ドルある。

野村銀行のデミールは、「銀行からローンのリストラを求められている企業が増えていると
聞いた。今後、リラがさらに下落すれば、より多くの企業が、膨大なトルコのキャッシュフ
ローを伴う外貨債務を履行することはますます困難になるだろう。」と語った。



検査下の銀行

ここ数週間、トルコの最も大きな企業のうち2社は、約120億ドルの銀行借入のリストラを図ってきた。トルコの銀行は、現在、法人向けローンのエクスポージャーやローンのうち、どれだけがまだ健全なローンであるかについての検査に直面している。

Yesilada氏は、「明らかに、トルコの規制当局、銀行、大企業の間で、金融システムを継続しなければならないという理解がある。これらの貸出金を不稼働資産あるいは、借り手の破綻と認めえることには、誰も関心がない。それ故、すべてがよい状況のように見える。しかし、ごく率直に言うと、うまく行き続けるものは存在しない。」と述べた。

トルコ銀行の株式はここ数ヶ月で大幅に下落し、現在は9年ぶりの安値で取引されている。多くのアナリストは、金融上の圧力が増しているにもかかわらず、銀行システムの健全性は依然として強く残っていると主張している。

しかし、同じアナリストたちは、銀行が今後の貸出を抑制し、成長に影響を及ぼす可能性がある」と警告している。デミール氏は、エルドランと彼の政府の成長へ向けて突進することが

最終的に自滅を引き起こす可能性がある」と予測している。

「仮に、持続的な成長手段に関する主張が継続し、投資家が外部資金調達の要請についてますます懸念をいだき、リラを売却するようになれば、持続的な成長手段は、実際には逆効果になるかもしれない。なぜなら、弱いリラが多くの企業にその債務のリストラを行うことを強い、投資を削減させながら新たな雇用を作り出すことで、企業のバランスシートを傷つける可能性がある。」デミールはと述べた。

以上

本書は、情報提供のためのみに提供されるものであり、新たな資料によりその全体について修正、更新または差替されることがあります。本書に含まれる情報は、信頼できると信ずべき情報源から入手されるものでありますが、その正確性または完全性について何らの表明をするものではありません。本情報の正確性または当社の見解の有効性へ依拠される方は、自己の責任においてそれを行うこととなります。

本書は、金融商品（有価証券を含みますが、これに限られません）の取得の申込またはその引受もしくは買付の申込の勧誘を目的とするものではなく、また金融商品の取引条件の最終的な提示を意図したものではありません。本書に記載されるいかなる表示も三田証券会社またはその関係会社が取引を締結することを約束するものとして解釈されるべきではありません。三田証券会社および・またはその関係会社が本書に基づいて取引を行うことはありません。

三田証券会社またはその関係会社は、本書から発生した誤解について一切の責任を負いません。また、三田証券会社及びその関係会社は、本書に基づいて投資家がなす決定から発生した財務上その他の結果に関して、いかなる受託者責任または賠償責任も負いません。投資家は、リスクを自ら評価し、且つこの点について必要な範囲で自己の法律上、財務上、税務上、会計上またはその他専門分野の自己の助言者から助言を受ける必要があります。

投資家は、特に、本書に記載する金融商品を引受、買付且つ保有する場合、一定の状況においては本金融商品の償還価値・強制買戻価格が額面金額・当初投資金額を下回る場合があり、ゼロとなる可能性もあることを認識する必要があります。

本書は、2018年4月10日付けでVoice of Americaの記事「**Turkish Currency Hits Record Lows Over Fears of Overheating Economy**」の一部をお客様の参考に資するため提供する和訳文です。原文（英語）と和訳文に齟齬がある場合は原文（英語）が優先し、三田証券は和訳文の正確性について責任を負うものではありません。

商号等 三田証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第175号
本店所在地 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-11
加入協会 日本証券業協会
指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
資本金 5億円
主な事業 金融商品取引業
設立年月 昭和24年7月
連絡先 03-3666-0011 又はお取引のある支店にご連絡ください。